

Limitrophe

リ ミ ト ロ フ

4

特集 ジャン・ジュネ

鶴飼哲、ジュネを語る——ジュネ研究の過去・現在・未来（聞き手=佐藤勇輝）

エマニュエル・ランベール、ジル・フィリップ、アルベール・ディシィ「プレイヤード版のジャン・ジュネ」

岑村傑、根岸徹郎、中田麻理

特集 「あわい」の思考

宇野邦一・越智雄磨「生の有機／非有機のあわい」をめぐる討議

デンニツァ・ガブラコヴァ「記憶と虚構の間——「廃園」という自己療法」 高桑枝実子

源川真希『東京史』を読む（西山雄二、源川真希）

ダリン・テネフ「あわいとしての虚構、あるいは盲目の予言者テイレシアスの後継者たち」

高橋博美、八木悠允

金志成『対話性の境界——ウーヴェ・ヨンゾンの詩学』を読む

森野紗英、米原大起、高波力生哉、西山雄二

コリーヌ・ベリュション『世界の修復——人間、動物、自然』をめぐる討議

八木悠允、櫻田裕紀、佐藤愛、谷虹陽、若杉茜、清水雄大、桐谷慧

東京都立大学

人文科学研究科

西山雄二

研究室紀要

Tokyo Metropolitan University

Yuji NISHIYAMA

Office Bulletin

巻頭言 西山雄二 p. 1

特集 ジャン・ジュネ

- 「鶴飼哲、ジュネを語る——ジュネ研究の過去・現在・未来」(聞き手=佐藤勇輝) p. 3
エマニュエル・ランベール、ジル・フィリップ、アルベール・デュシイ
「プレイヤー版(『小説と詩』)のジャン・ジュネ」(訳=佐藤勇輝・西山雄二) p. 29
岑村傑「所有と携行——ジュネのスーツケース」 p. 42
根岸徹郎「ジャン・ジュネと演劇——「見る」ことと「書く」ことの結節点として」 p. 57
中田麻理「対であることをめぐる幻想——ジャン・ジュネ『葬儀』を中心に」 p. 68

特集 「あわい」の思考

- 宇野邦一・越智雄磨「「生の有機/非有機のあわい」をめぐる討議」 p. 77
デンニツァ・ガブラコヴァ「記憶と虚構の間——「廃園」という自己療法」 p. 85
高桑枝実子「「記憶と虚構のあわい」に接して」 p. 94
西山雄二「たゆたえども沈まぬ都市の歴史的脈動——源川真希『東京史 七つのテーマで巨大都市を読み解く』を読む」 p. 96
源川真希「『東京史』へのさまざまな批評に接して——秋の大運動会の余韻」 p. 100
ダリン・テネフ「あわいとしての虚構、あるいは盲目の予言者テイレシアスの後継者たち」 p. 105
高橋博美「「あわい」という装置——单身世帯の増加と多様な連携モデル」 p. 117
八木悠允「なぜ「あわい」か? 二つの「あわい」のあいだで」 p. 125

合評 金志成『対話性の境界——ウーヴェ・ヨーンゾンの詩学』を読む

金志成、森野紗英、米原大起、高波力生哉、西山雄二 p. 128

合評 コリーヌ・ペリュション『世界の修復——人間、動物、自然』をめぐる討議

コリーヌ・ペリュション、八木悠允、櫻田裕紀、佐藤愛、谷虹陽、若杉茜、清水雄大、桐谷慧 p. 145

研究ノート

森祐太「動物性から二つの友愛へ——バタイユにおける人間と動物の関係」 p. 160

2023年度 西山雄二研究室 活動報告 p. 171

Limitrophe

No. 1 特集 カトリーヌ・マラブー／
フランスにおけるインターセクショナリティ批判

No. 2 特集 エマヌエーレ・コッチャとの対話／ダリン・テネフとともに／
ジャン＝リュック・ナンシー（柿並良佑 責任編集）

No. 3 特集 ミシェル・ウエルベック（八木悠允 責任編集）

No. 4 特集 ジャン・ジュネ／「あわい」の思考

No. 5 特集 フィリップ・ラクー＝ラバルト、
ジャン＝リュック・ナンシー（柿並良佑 責任編集）

Limitrophe（リミトロフ）

No. 4

2024年

2024年3月31日刊行

編集：西山雄二

デザイン：北川光恵、西山雄二

発行：192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1
東京都立大学 西山雄二研究室（5号館 516号室）



東京都立大学
人文科学研究科
西山雄二
研究室紀要

Tokyo Metropolitan University
Yuji NISHIYAMA
Office Bulletin